



2023年3月期 決算・経営戦略概要

決算総括・長期経営戦略・中期経営計画

シスメックス株式会社
代表取締役社長 浅野 薫

2023年5月11日

Together for a better
healthcare journey

Index

1. 2023年3月期 決算総括
2. 長期経営戦略 2033（VA33）
3. 中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）
4. 2024年3月期 通期業績予想

（補足資料）

- ・当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。
- ・本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

1. 2023年3月期 決算総括

決算総括：売上高、営業利益ともに過去最高を達成



(億円)	2023年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	4,105.0	100%	3,637.8	100%	112.8%
売上原価	1,944.1	47.4%	1,731.9	47.6%	112.3%
販売費及び一般管理費	1,123.7	27.4%	942.3	25.9%	119.2%
研究開発費	310.6	7.6%	267.8	7.4%	116.0%
その他の営業損益	10.3	0.3%	△21.4	△0.6%	-
営業利益	736.7	17.9%	674.1	18.5%	109.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	457.8	11.2%	440.9	12.1%	103.8%

✓ **売上高** : 円ベースでは、全地域で伸長し、2桁増収を達成。

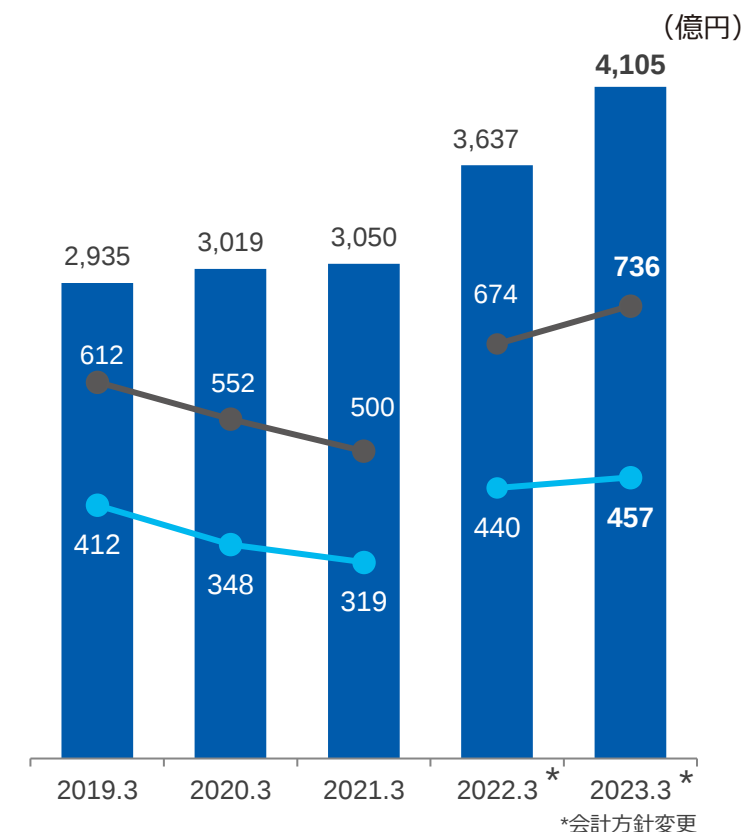
✓ **営業利益** : 原材料費高騰などの影響は緩和基調、さらに円安効果もあり、増益

- 為替の影響 売上高 +388.9億円 営業利益 +169.1億円

- 前年同期為替レート適用の場合 売上高 102.2% 営業利益 84.2%

✓ **当期利益** : 為替差損益の影響があるも、増益を達成

※為替差損益：△13.3億円（前年同期比△21.9億円）



■ 売上高 ● 営業利益 ● 当期利益

	2023年3月期	前年同期
1USD	135.5円	112.4円
1EUR	141.0円	130.6円
1CNY	19.8円	17.5円

4Q単四半期実績（対前年）

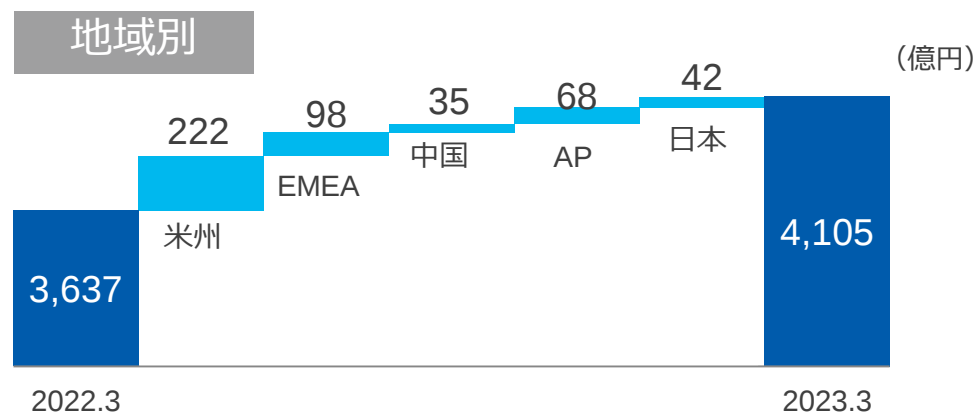
プロダクトミックスにより原価率は大幅に改善するも、その他の営業損益の影響を受け、営業利益率は前期同等

(億円)	2023年3月期4Q (1月-3月)		2022年3月期4Q (1月-3月) ※		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,117.5	100.0%	1,048.7	100.0%	106.6%
売上原価	505.4	45.2%	516.7	49.3%	97.8%
販売費及び 一般管理費	308.2	27.6%	264.6	25.2%	116.4%
研究開発費	89.9	8.0%	84.6	8.1%	106.2%
その他の営業損益	△20.9	△1.9%	△2.1	△0.2%	-
営業利益	193.0	17.3% (19.1)	180.5	17.2% (17.4)	106.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	105.9	9.5%	115.4	11.0%	91.8%
●為替レート	2023年3月期4Q(1月-3月)		2022年3月期4Q (1月-3月)		※会計方針変更
	1USD	132.3円	116.2円		
	1EUR	142.1円	130.4円		
	1CNY	19.3円	18.3円		

売上高の増減要因（地域別・品目別）

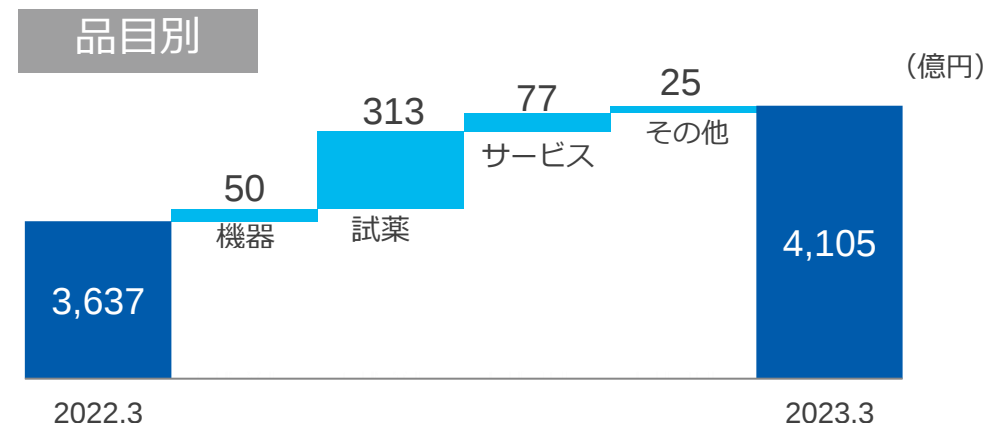
	2023年3月期		前年同期比	
(億円)	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	4,105.0	100.0%	112.8%	102.2%※
米州	1,059.0	25.8%	126.6%	105.2%
EMEA	1,113.7	27.1%	109.7%	101.6%
中国	969.0	23.6%	103.8%	92.4%
AP	364.8	8.9%	123.2%	111.9%※
日本	598.3	14.6%	107.6%	-
機器	917.9	22.4%	105.8%	95.5%※
試薬	2,475.3	60.3%	114.5%	104.2%※
サービス	543.5	13.2%	116.7%	103.5%※
その他	168.1	4.1%	118.1%	108.2%※

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



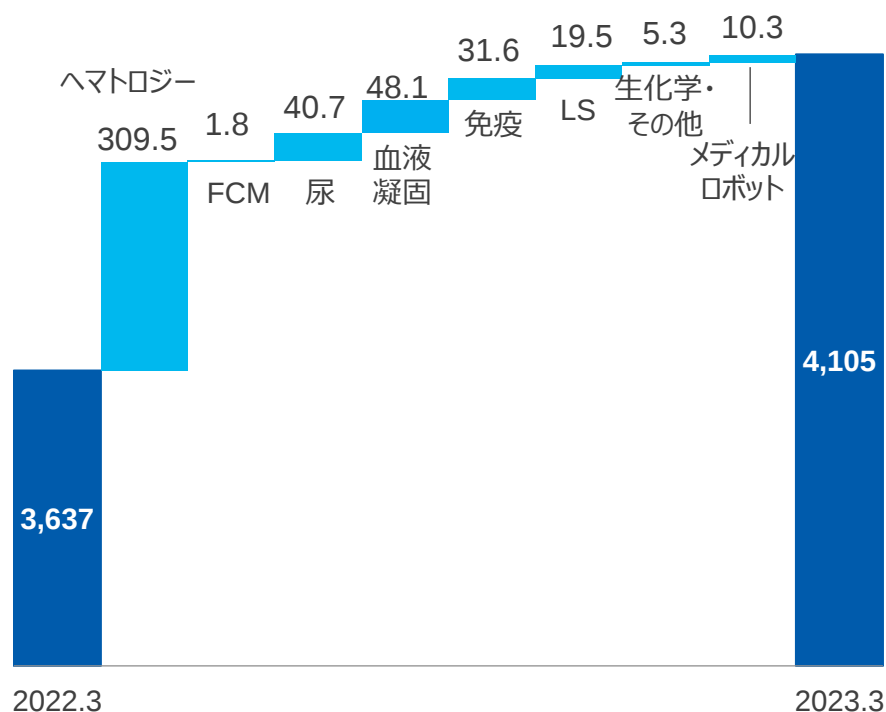
地域別の主な増減要因

米州	北米の伸長に加え、ブラジルの販売体制強化により、中南米でヘマトロジー・尿分野が好調に推移
EMEA	ロシア・ウクライナの地政学的影響を受けるも、イタリアの大型案件獲得などによりヘマトロジー・尿・ライフサイエンス分野を中心に伸長
中国	- ロックダウン影響を受けるも、下期の試薬売上は前年水準まで回復 - 機器は経済の停滞などにより低需要が継続
AP	直販化したインドを中心に伸長し、2桁増収を達成
日本	XR™シリーズによるヘマトロジー分野の伸長や、免疫分野の試薬も好調に推移。さらに、メディカルロボット事業も伸長



売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高（億円）



COVID-19関連検査（ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる）

2023.3期累計：61.9 億円（国内56.6億円、海外 5.3億円）

（参考）2022.3期累計：82.2 億円（国内55.1億円、海外27.1億円）

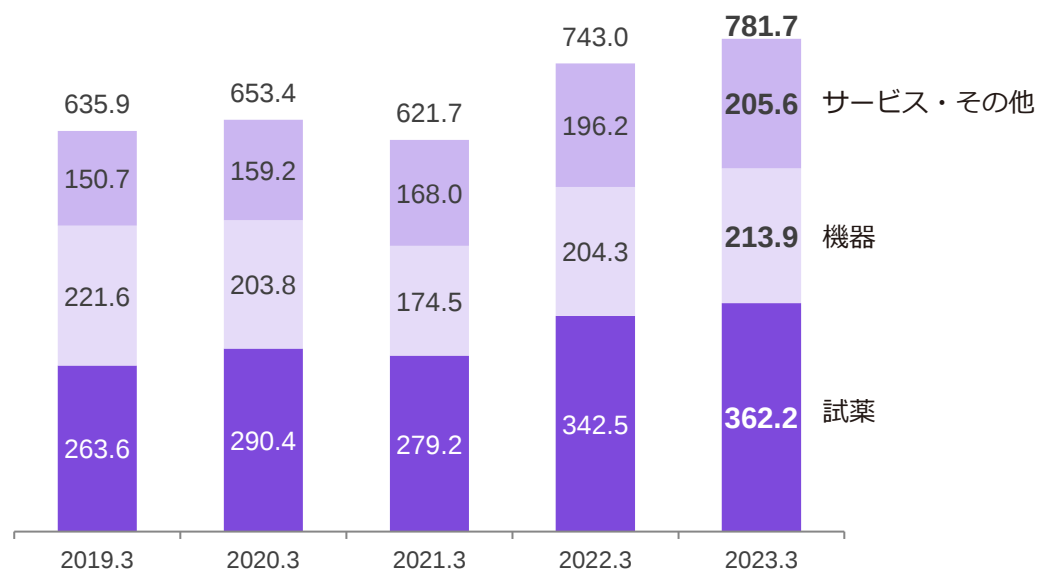
ヘマトロジー分野を中心に、伸長

(億円)	2023年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	4,105.0	100.0%	112.8%	102.2%
ヘマトロジー	2,413.2	58.8%	114.7%	102.7%
FCM	22.6	0.6%	109.0%	97.7%
尿	340.5	8.3%	113.6%	100.8%
血液凝固	669.0	16.3%	107.8%	98.1%
免疫	235.7	5.7%	115.5%	108.9%
生化学	34.2	0.8%	115.8%	107.1%
ライフサイエンス	199.3	4.9%	110.9%	105.4%
その他	166.8	4.1%	100.4%	95.0%
ダイアグノスティクス事業	4,081.6	99.4%	112.6%	101.9%
メディカルロボット事業	23.3	0.6%	180.2%	180.2%

米州（地域別）

(Million USD)	2023年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	781.7	743.0	105.2%	126.6%
機器	213.9	204.3	104.7%	125.5%
試薬	362.2	342.5	105.7%	127.4%
サービス・その他	205.6	196.2	104.8%	126.3%

売上高推移（Million USD）



中南米の伸長に加え、北米は、尿分野のシーメンスとのアライアンス効果もあり、尿・ヘマトロジー分野の試薬を中心に好調に推移し、増収

● 機器

✓ 北米、中南米ともヘマトロジー分野が好調に推移

● 試薬

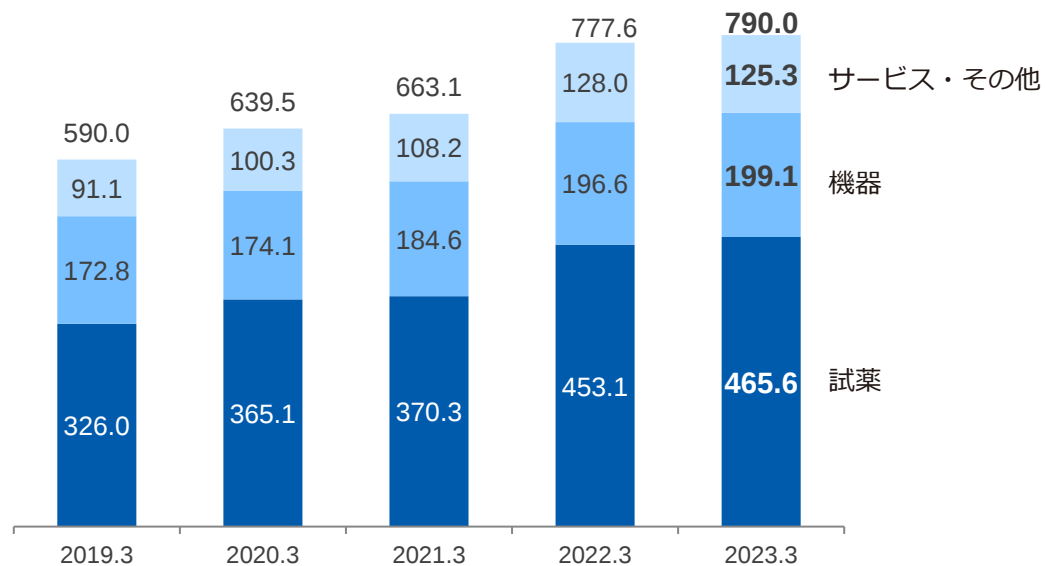
✓ 尿分野において、北米、中南米ともに機器設置台数の増加により、伸長

✓ ヘマトロジー分野において、ブラジルを中心に中南米で好調に推移

EMEA（地域別）

(Million EUR)	2023年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	790.0	777.6	101.6%	109.7%
機器	199.1	196.6	101.3%	109.4%
試薬	465.6	453.1	102.8%	111.0%
サービス・その他	125.3	128.0	97.9%	105.8%

売上高推移（Million EUR）



ロシアが減収になるも、イタリアの大型案件獲得による機器の伸長や、ヘマトロジー分野の試薬が好調に推移し、増収

● 機器

- ✓ 大型案件を獲得したイタリアなどで尿分野が好調に推移
- ✓ アフリカを中心にヘマトロジー分野の小型機器が伸長

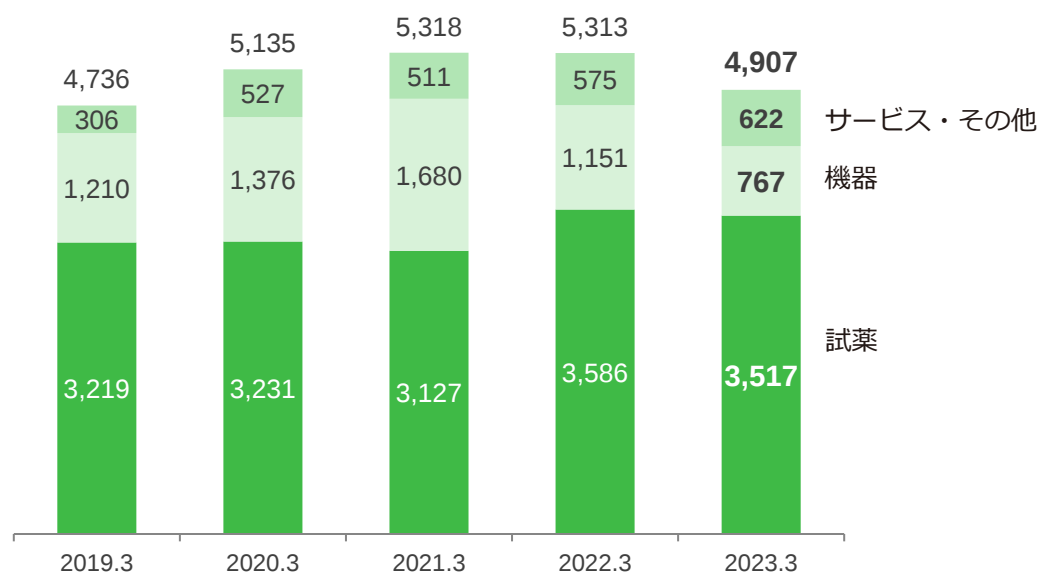
● 試薬

- ✓ ヘマトロジー分野において、トルコやフランスを中心に伸長
- ✓ COVID-19関連検査の需要は減少

中国（地域別）

(Million CNY)	2023年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	4,907.6	5,313.1	92.4%	103.8%
機器	767.7	1,151.3	66.7%	75.0%
試薬	3,517.5	3,586.0	98.1%	110.2%
サービス・その他	622.4	575.8	108.1%	121.2%

売上高推移（Million CNY）



COVID-19影響（ロックダウン、感染者急増など）や、政府調達方針の影響もあり減収も、検査需要の回復やロックダウン製品の拡充などにより、4Q単は回復

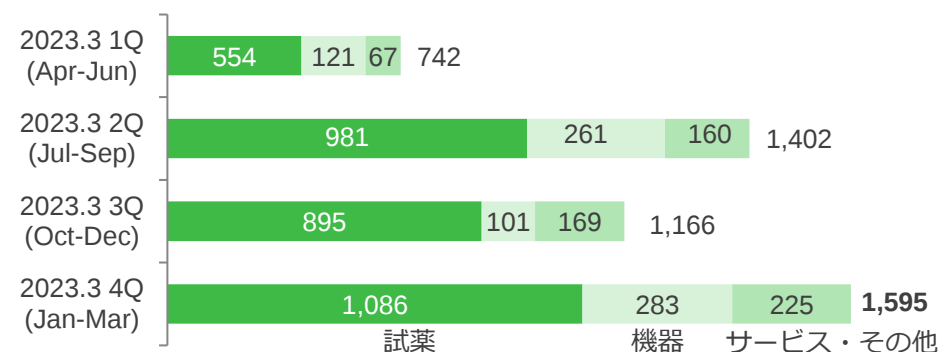
● 機器

- ✓ COVID-19や政府調達方針の影響を受けるも、血液凝固分野の上位機種その他、ヘマトロジー・尿分野のロックダウン製品が伸長

● 試薬

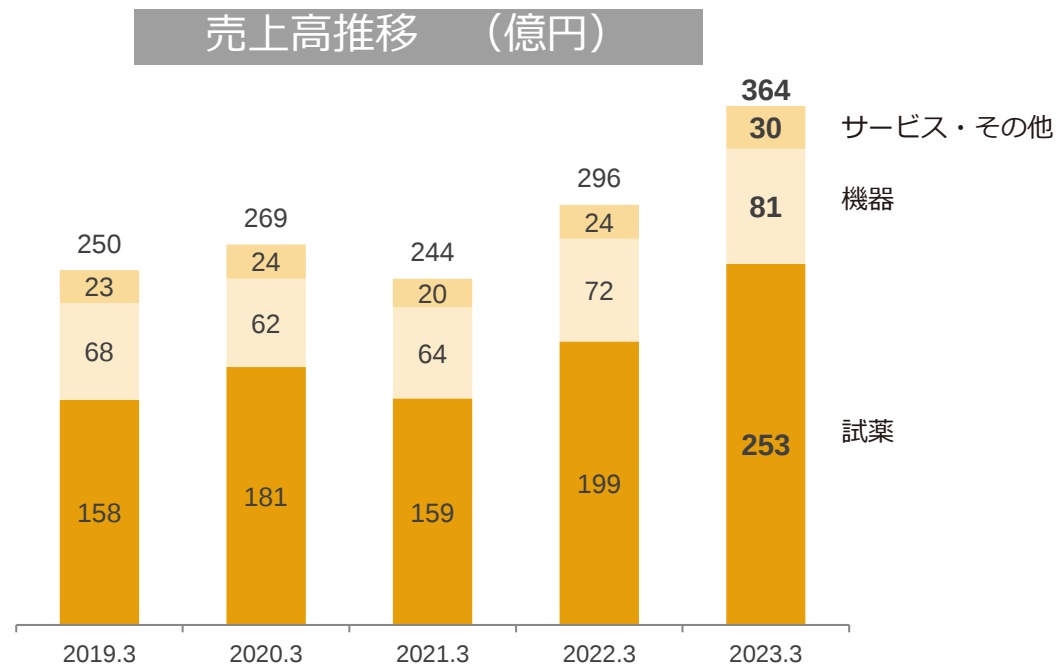
- ✓ COVID-19重症化予測に用いられる血液凝固分野が伸長も、検査需要の減少などにより、減収

品目別売上高 四半期推移（Million CNY）



AP（地域別）

	2023年3月期	前年同期	前年同期比
(億円)			円ベース
売上高	364.8	296.0	123.2% (111.9%)
機器	81.0	72.3	112.1%
試薬	253.3	199.1	127.2%
サービス・その他	30.4	24.6	123.8%



インドの売上伸長に加え、機器設置台数増加により
試薬が好調に推移し、全分野で増収

● 機器

- ✓ 前年のCOVID-19影響の反動により、血液凝固・免疫分野が微減となるも、その他分野が堅調に推移し、増収
- ✓ インドネシアや台湾を中心にヘマトロジー分野が伸長

● 試薬

- ✓ 機器設置台数の増加により、インドやベトナムにおいて継続して、ヘマトロジー分野が好調に推移
- ✓ タイなど東南アジアにおいて、尿・免疫分野が好調に推移した他、全分野で試薬売上が伸長

日本（地域別）

(億円)	2023年3月期	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	598.3	556.1	107.6%
ダイアグノスティクス事業	574.9	543.2	105.8%
機器	97.4	95.0	102.5%
試薬	380.0	355.2	107.0%
サービス・その他	97.5	92.9	104.9%
メディカルロボット事業	23.3	12.9	180.2%

ヘマトロジー分野の機器に加え、血液凝固・免疫分野の試薬やメディカルロボット事業が伸長し、増収

ダイアグノスティクス事業

● 機器

- ✓ XRシリーズによるヘマトロジー分野の2桁伸長や、COVID-19関連検査需要により免疫分野が大幅伸長し、増収

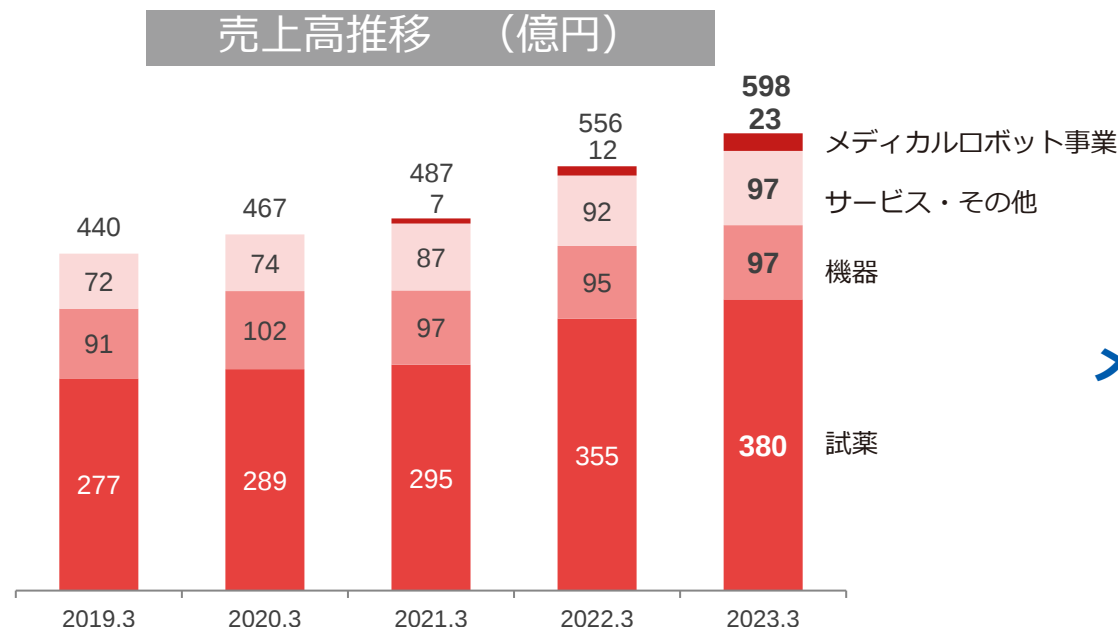
● 試薬

- ✓ 機器設置台数の増加による免疫分野の伸長や、COVID-19重症化予測により血液凝固分野が好調に推移し、増収

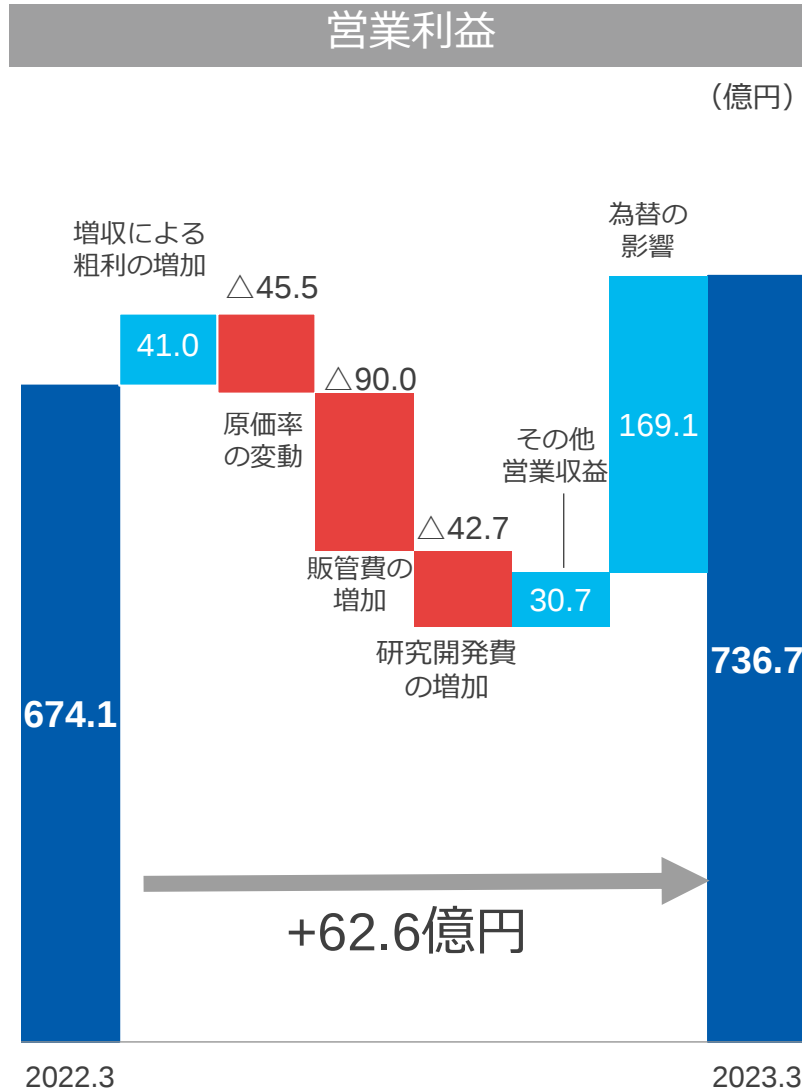
メディカルロボット事業

- ✓ 今期17台導入、販売開始以来の累計導入台数は35台※
- ✓ 総症例数は1,323症例（2023年3月末時点）

※販売スキームにより、売上計上の額や時期および期間が様々であり、導入台数と売上高は比例いたしません。



営業利益の増減要因

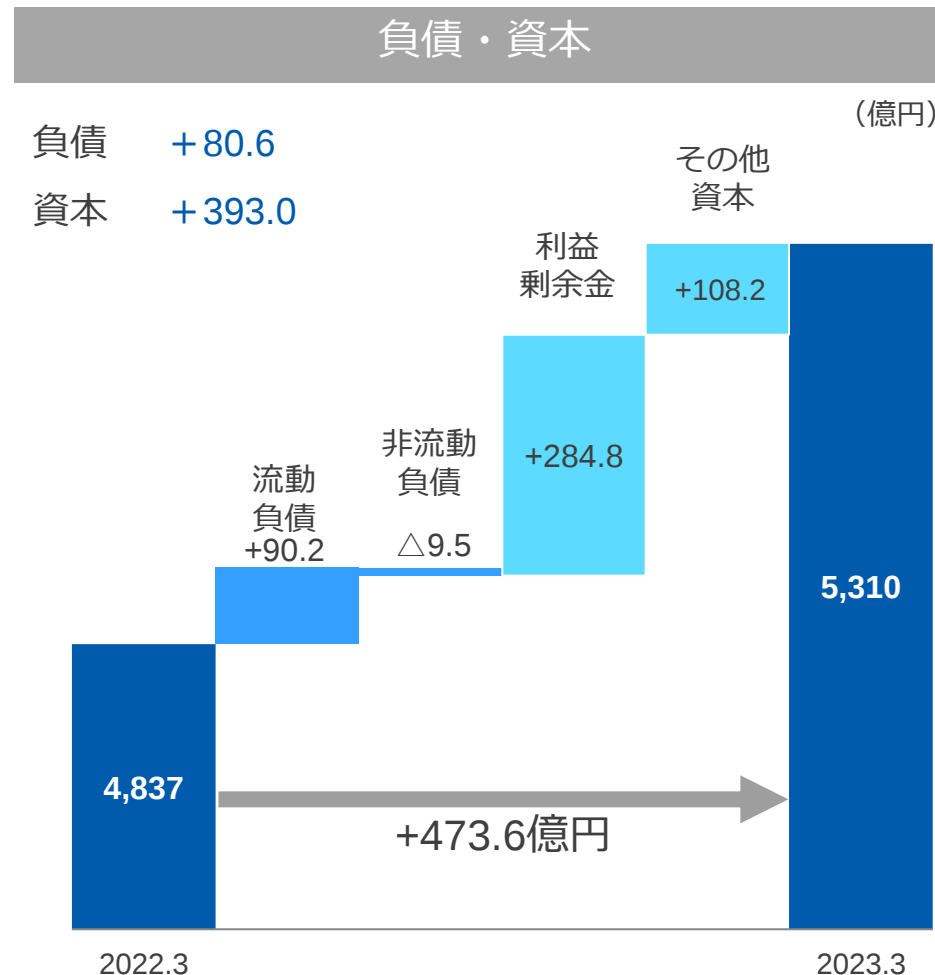
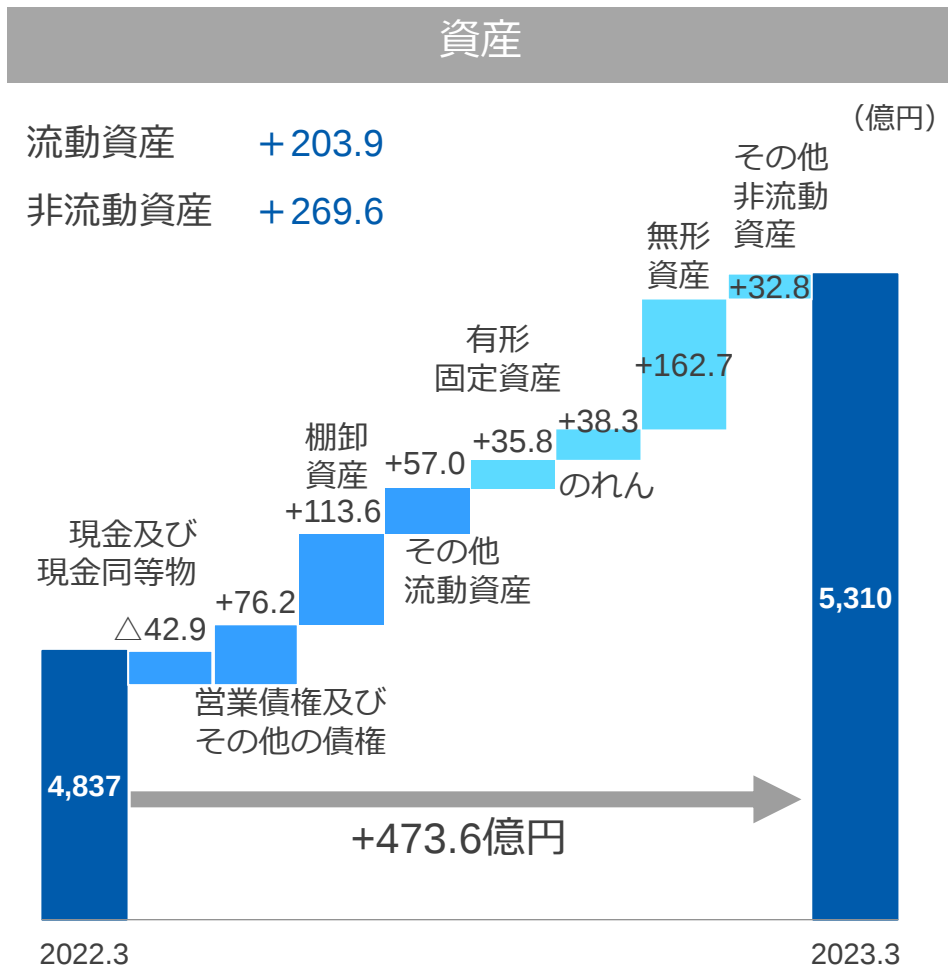


※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- 増収による粗利の増加：41.0億円
 - 原価率変動による影響：45.5億円（1.2pt 悪化）
 - ✓ 原材料高騰 1.2pt 悪化、輸送費高騰 0.5pt 悪化、サービスコスト 0.4pt 悪化
 - ✓ プロダクトミックス影響 0.7pt 改善
 - 販売管理費の増加：90.0億円
 - ✓ 各地域における販売・サービス活動再開および直販体制強化などによる増加
 - ✓ デジタル化関連費用の増加
 - 研究開発費の増加：42.7億円
 - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
 - その他営業収益の増加：30.7億円
 - ✓ その他営業費用の減少および外部委託倉庫の火災に伴うその他営業収益の増加
-
- 為替の影響：169.1億円のプラス影響

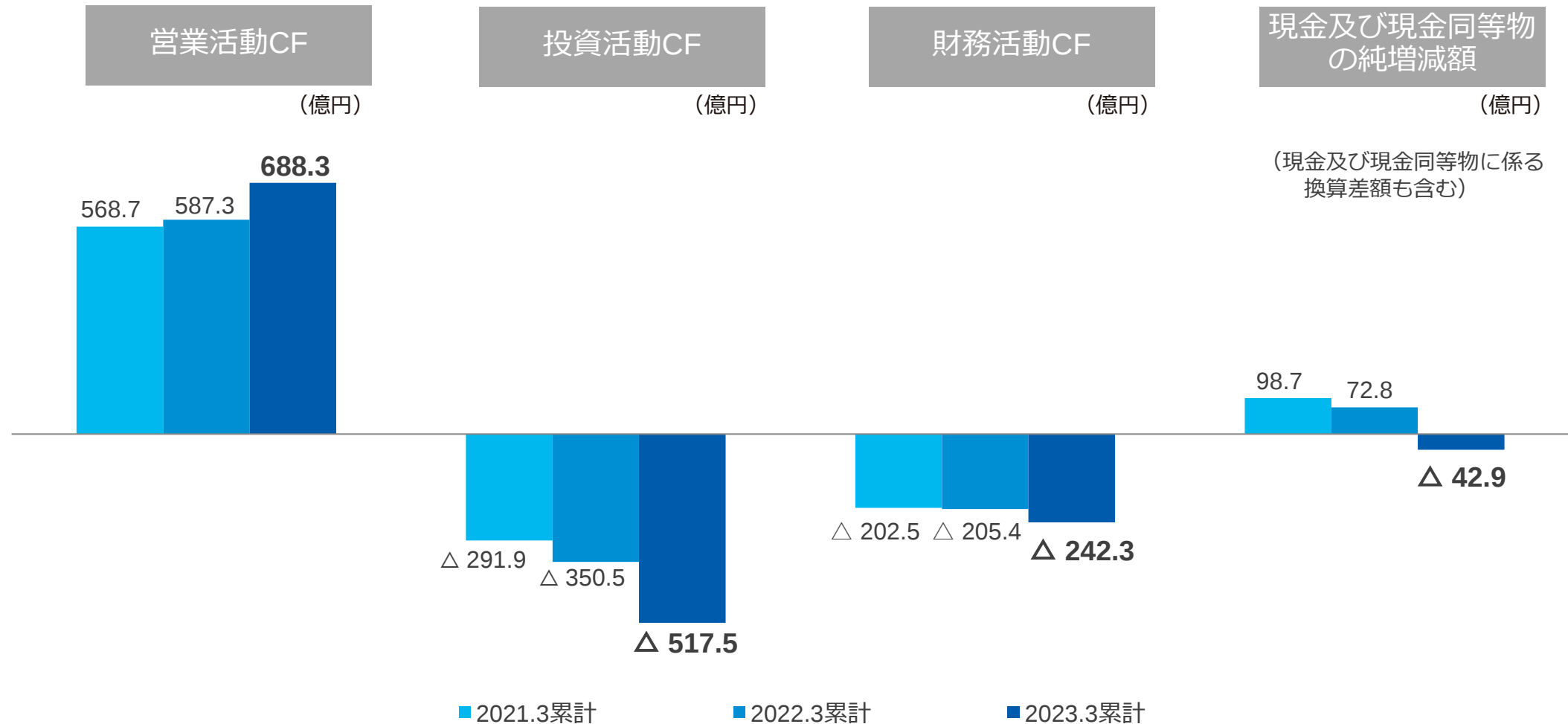
連結財政状態計算書の増減要因

安全在庫確保による棚卸資産の増加、デジタル化投資による無形資産の増加



キャッシュフローの推移

Astregoの子会社化や、デジタル化投資等により投資活動CFが増加



トピックス（2022年4月～2023年3月）

ダイアグノスティクス事業

- ヘマトロジー分野 XRシリーズの検体搬送システム商品群を販売開始（2022年7月/日本）
- XN™シリーズ搬送システムのノックダウン生産の開始（2022年12月/中国）
- アルツハイマー病検査（微量の血液から脳内アミロイドβを測定する検査）の薬事承認を取得（2022年12月/日本）
- 免疫分野試薬項目が合計57項目に拡大（2022年3Q/中国）
- **Siemens Healthineersと血液凝固分野におけるグローバルOEM契約を締結（2023年3月）**

メディカルロボット事業

- 手術支援ロボットシステム「hinotori™」が、消化器外科および婦人科において保険適用（2022年12月/日本）

サステナビリティ経営

- 2040年カーボンニュートラル宣言（2022年5月）
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に7年連続選定（2022年12月）
- **優れた人的資本経営・情報開示に取り組む企業として「人的資本リーダーズ2022」に選出（2023年2月/日本）**

2023年3月期配当（案）

- 2022年3月期に対し、年間で6円の増配
- 期初公表に対し、創立55周年の記念配当として2円の増配

	中間	期末	年間	配当性向
2022年3月期	37円	39円	76円	36.0%
2023年3月期 （案）	40円	42円※ 創立55周年 記念配当(2円)含む	82円	37.5%

※2023年3月の期末配当は、第56期定時株主総会に付議する予定

2. 長期経営戦略 2033（VA33）

2025年をゴールとした長期経営戦略 2025を2018年に策定

■ 長期ビジョン（2025）

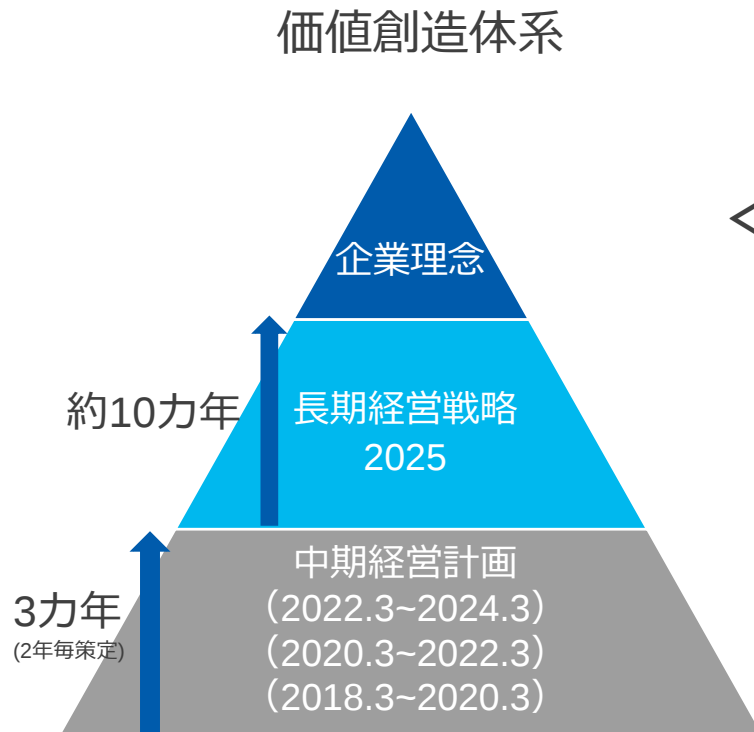
Unique & Advanced Healthcare Testing Company
『特徴のある先進的なヘルスケアテスト企業』

<ポジショニング>

1. 新たな診断価値を創出するIVDグローバルTop 5
2. 治療を最適化する個別化診断のリーディングカンパニー
3. プライマリケアの進展に貢献するソリューションプロバイダー
4. 価値と安心を提供する魅力あふれる会社
5. スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

事業の拡大

**企業価値・
風土の向上**



ポジショニング達成に向けた主な進捗

事業の拡大

新製品の販売

- ✓ ヘマトロジー分野
 - ✓ 免疫分野
 - ✓ ライフサイエンス分野
- XRシリーズの市場導入
試薬項目の拡大（アルツハイマー病、COVID-19抗原など）
がんゲノムプロファイリング検査
「OncoGuide™ NCCオンコパネル システム」の発売

アライアンス施策

- ✓ 血液凝固、尿分野におけるシーメンスとのアライアンス契約

地域施策

- ✓ 中国国産優遇政策に対応したノックダウン生産品目の拡大
- ✓ インド、中南米、中東など、新興国における販売体制強化

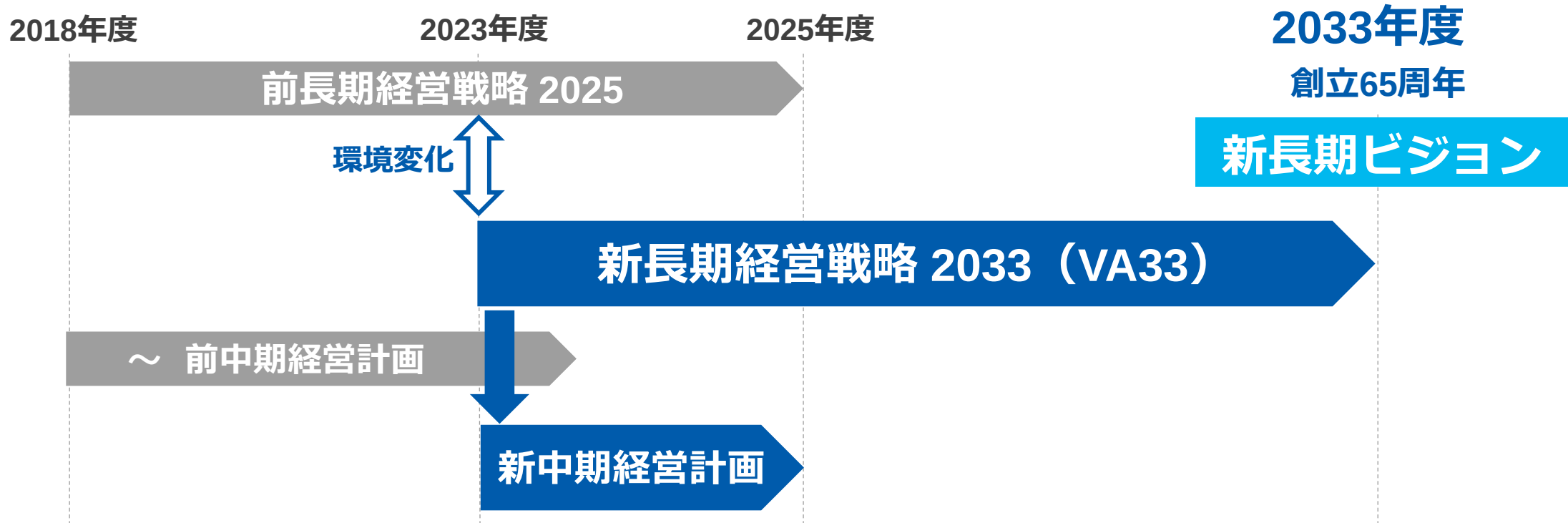
新規事業

- ✓ メディカルロボット事業のスタート

企業価値・風土の向上

- ✓ 社内デジタル化の推進
- ✓ グローバル人材マネジメント、ジョブ型人事制度の構築
- ✓ エンゲージメント向上に資する働き方の推進

新長期経営戦略 2033（VA33：Value Advance）



Value

- ・社員一人ひとりが常に「社会価値」と「企業価値」の向上に真摯に向き合う
- ・検査・診断にイノベーションを起こし、個別化医療や新たな治療領域においてもユニークな「価値」を創出

Advance

- ・ミッションであるヘルスケアの「Advancement」を推進
- ・さらなる「進化」への覚悟

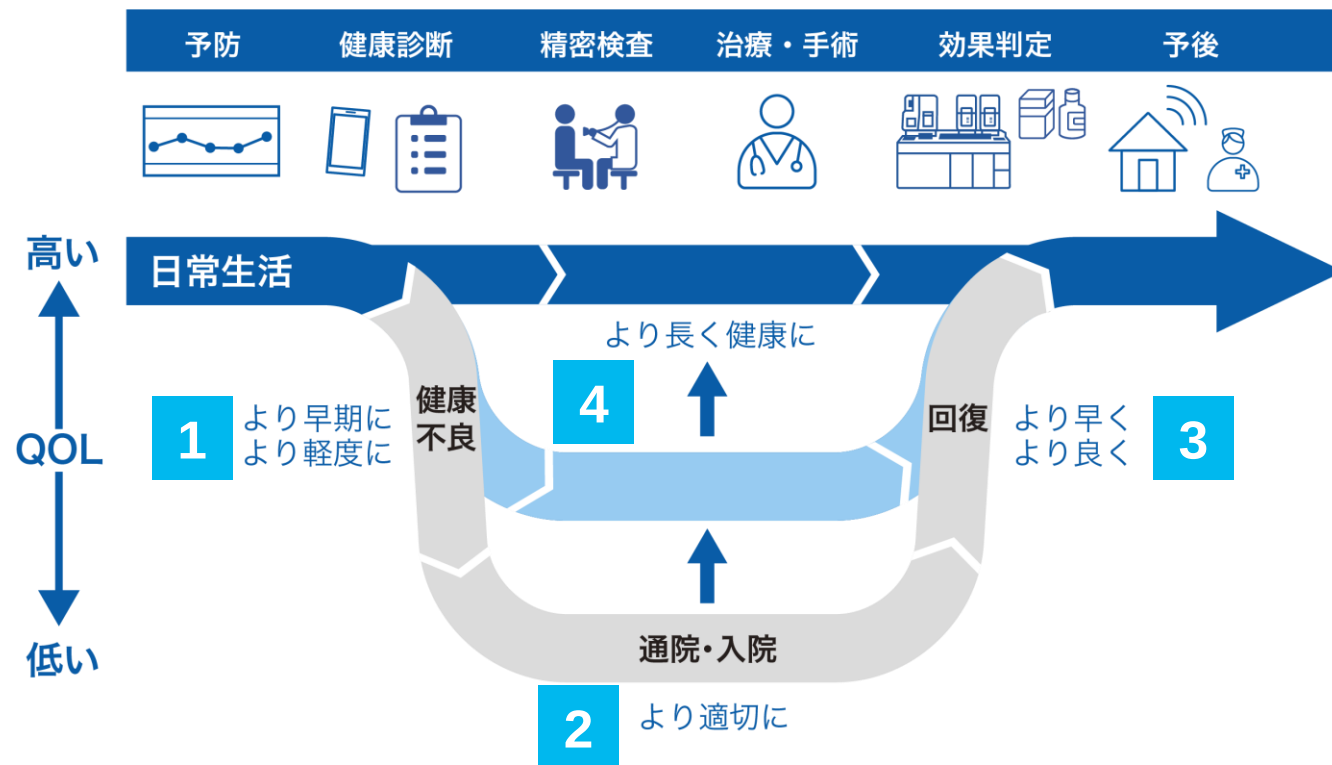
「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」

ヘルスケアジャーニー

- ・ 人が一生の中（ライフステージ）で、自身のヘルスケアについて経験する各種イベントと、医療機関などを含む対応のプロセスを「旅路」として捉えたもの
- ・ 当社の事業領域も、従来の「ダイアグノスティクス」に、予防・未病・予後のモニタリングを加えた「ヘルスケアジャーニー」へ拡大

新長期経営戦略：提供価値

ヘルスケアジャーニーの各シーンにおいて、世界の人々のQOL向上に貢献し、医療および医療費の最適化を通じた豊かな健康社会を実現

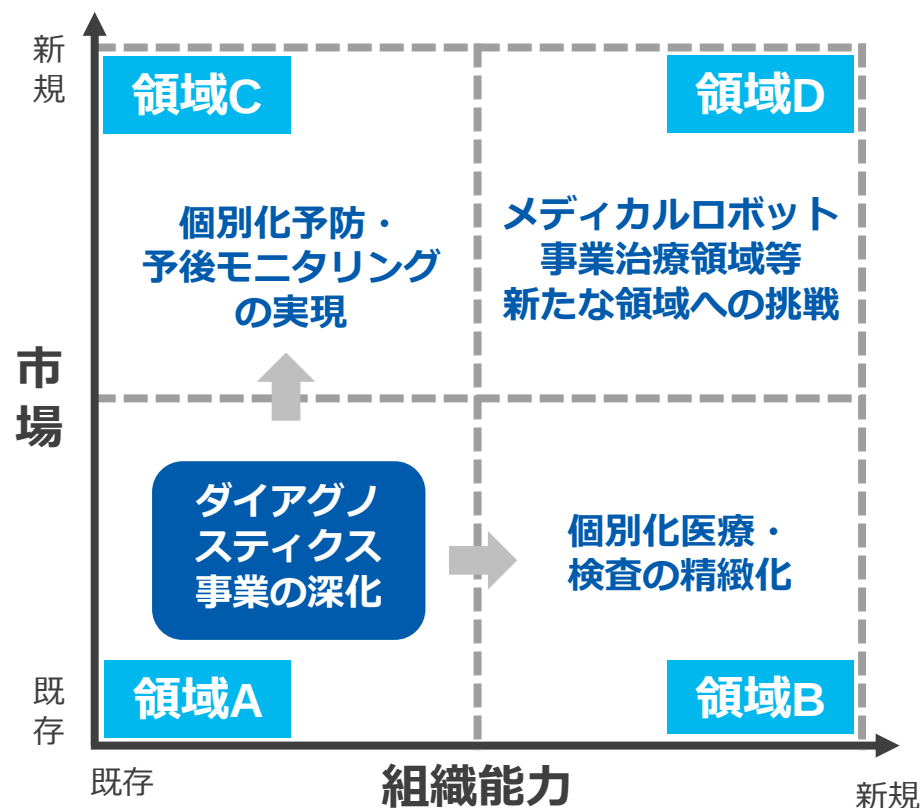


シスメックスの提供価値

- 1 より早期に、より軽度の段階で病気を発見するための検査や情報を提供
- 2 病気になった時、より精緻な診断や個人に最適な治療法を選択できる、検査や情報を提供
- 3 より早く、より良い状態に回復するためのモニタリング検査や情報を提供
- 4 より長く健康な生活に貢献するための検査や情報を提供

既存事業の深化と新規事業の創出により、事業領域を拡大

「ダイアグノスティクス（ヘルスケアテストング）からヘルスケアジャーニーへ」



領域A ダイアグノスティクス事業の深化

- (1) ヘマトロジー・尿分野の新興国市場のシェア拡大と圧倒的競争優位の維持
- (2) 免疫分野における試薬項目拡大とグローバル展開
- (3) 新たなアライアンスによる血液凝固分野のグローバル展開

領域B 個別化医療・検査の精緻化

- (1) ゲノム検査を活用したユニークなライフサイエンス分野の展開
- (2) 個々の治療を最適化する検査・診断法の提供

領域C 個別化予防・予後モニタリングの実現

- (1) 未病・予防・予後モニタリングを対象とする新たな検査の実現
- (2) ヘルスケアデータを活用した新たなヘルスケアサポートの実現

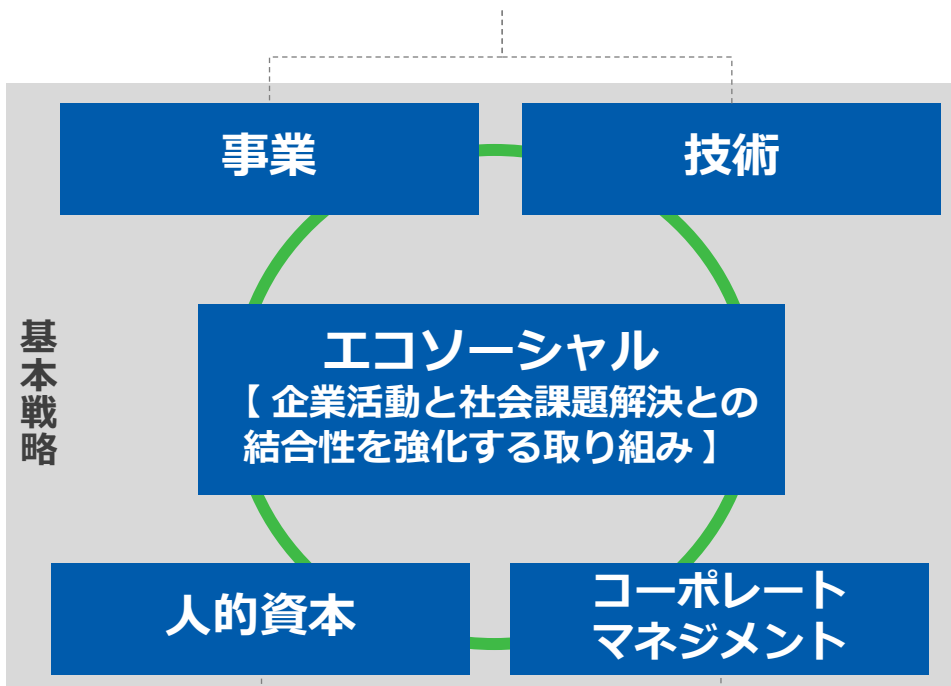
領域D メディカルロボット事業 / 再生細胞医療

※チャールズ・A・オライリー 他、「両利きの経営」を基に作成

新長期経営戦略：戦略・目標

目標達成に向けて、5つの要素で構成される基本戦略を軸に推進し、1兆円企業を目指す

【 持続的な成長に向けた取り組み 】



【 企業基盤強化に向けた取り組み 】

財務目標

- 成長性
売上高 : 1兆円以上
- 収益性
営業利益率 : 20%以上

サステナビリティ目標

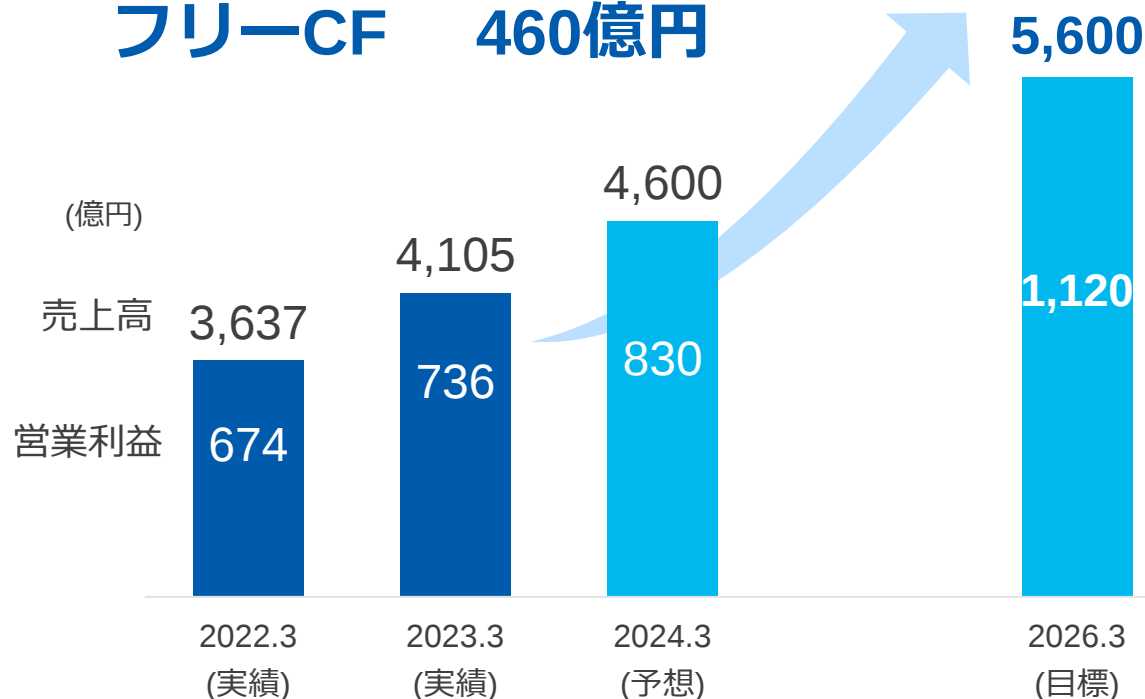
- プロダクトロスのゼロ化
未使用廃棄率 : 0.1%未満
- リサイクル・環境配慮材料への代替
容器と包装材への利用率 : 100%

3. 中期経営計画 (2024年3月期～2026年3月期)

中期経営計画の概要

2026年3月期 目標

売上高 5,600億円
営業利益 1,120億円
ROE 16.0%
フリーCF 460億円



グループ重点アクション

領域

1	ダイアグノスティクス事業領域のイノベーションによる競争力の強化と市場の拡大	A
2	個別化医療領域における、遺伝子検査を中心とした事業化の加速	B
3	予防・セルフメディケーション領域における新たなビジネスモデル創出	C
4	治療領域における、メディカルロボット事業を中心とした事業成長の加速	D
5	資源循環型バリューチェーン実現と社会課題解決に向けた変革	A B C D
6	人的資本および経営基盤強化を通じた企業価値の向上	—

重点アクションにおける主な取り組み

1

ダイアグノスティクス事業領域のイノベーションによる競争力の強化と市場の拡大

- XRシリーズのグローバル展開と市場導入加速
- 免疫分野の試薬項目の拡大とアルツハイマー病検査の早期事業化
- 新たなアライアンスを活用した血液凝固分野のグローバル展開
- 中国、インドを中心とした地域戦略の推進

2

個別化医療領域における、遺伝子検査を中心とした事業化の加速

- リキッドバイオプシー技術（遺伝子、細胞、タンパク）による新規試薬項目開発

3

予防・セルフメディケーション領域における新たなビジネスモデル創出

- 検査技術の組み合わせによる新たな診断価値の創出
- 医療の分散化に対応した検査システムの開発

4

治療領域における、メディカルロボット事業を中心とした事業成長の加速

- メディカルロボット事業：hinotori国内導入加速および海外展開の推進
- 再生細胞医療製品の開発およびデジタル医療サービスの事業化

5

資源循環型バリューチェーン実現と社会課題解決に向けた変革

- 全バリューチェーンで4R（Reduce、Reuse、Recycle、Replace）によるグリーンイノベーションの実現
- 2040年カーボンニュートラル達成に向けた取り組みを推進

6

人的資本および経営基盤強化を通じた企業価値の向上

- 人的資本ポートフォリオの最適化とエンゲージメントの向上
- 経営基盤強化およびステークホルダーの支持獲得を通じた企業価値向上
- デジタル化による業務プロセスの改善と生産性の向上

資源配分・財務戦略

強固な収益モデルに基づき、将来を見据えた先行投資を継続、安定的な株主還元を実現

	過去3年間累計 (2021.3～2023.3)	新中期経営計画累計 (2024.3～2026.3)
(億円)		
キャッシュフロー創出	営業CF：1,844	2,800以上
設備および事業投資 (投資活動キャッシュフロー)	1,010	1,700 ・新興国展開、拠点整備（インドなど） ・デジタル化の推進 ・機動的なM&A
株主への還元	468	・配当性向30%以上 ・業績伸長に裏付けられた安定的な増配
研究開発費	803	1,250 ・次世代機器・試薬の開発 ・新たな領域に向けた技術開発
資本効率*	ROE：12.4%	16.0%
*最終年度		

主なサステナビリティ目標



新マテリアリティ		主なサステナビリティ目標	2026.3月期目標
●健康社会への新たな価値創出	・イノベーションを通じた医療課題解決	ヘマトロジー検査件数	※2
		手術支援ロボットによる症例数	※2
	・医療アクセスの向上	新興国・開発途上国売上高	※2
●責任ある製品・サービス・ソリューションの提供	・品質と信頼の追求	リコール件数	※2
	・サプライチェーンマネジメントの強化	CSR調査回答率（国内・海外一次サプライヤー）	90%
●環境への負荷低減	・製品ライフサイクルにおける資源循環	プロダクトロスのゼロ化	0.18%
		リサイクル・環境配慮材料への完全代替	60%
	・事業所活動における環境負荷低減	GHG排出量削減率（Scope1,2）	-40%
●ガバナンスの強化	・コーポレートガバナンス	投資家アナリストミーティング数	※2
	・コンプライアンス	内部通報件数	※2
	・リスクマネジメント	情報リテラシー教育受講者数※1	※2
	・エンゲージメントの向上	エンゲージメントスコア	75%
●魅力ある職場の実現	・ダイバーシティ、 エクイティ&インクルージョンの推進	離職率	10%以下
		女性マネジメント比率	20%以上
		経営層による多様性（女性比率、外国籍比率）	※2
	・人材の育成	平均教育時間	40時間
		付加価値生産性（グループ）	2,250万円
	・健康増進と労働安全の推進	年間総労働時間	1,980時間

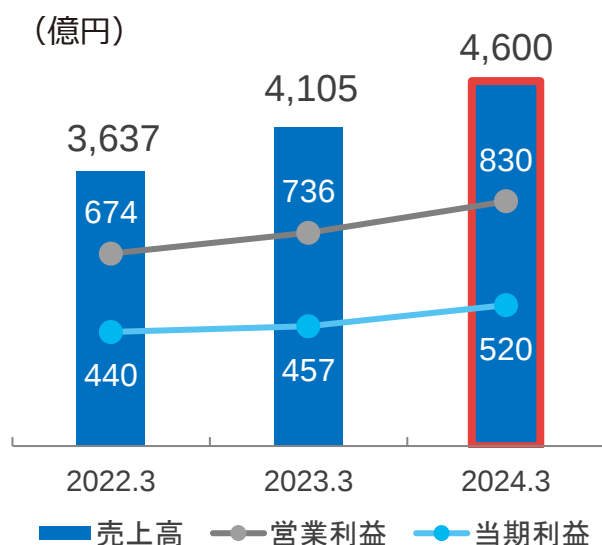
※1 対象：国内グループ

※2 目標値は設定せずモニタリング指数として設定

4. 2024年3月期 通期業績予想

2024年3月期 通期業績予想

(億円)	2024年3月期		2023年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	4,600	100.0%	4,105	100.0%	+12.1%
販売管理費	1,245	27.1%	1,123	27.4%	+10.8%
研究開発費	375	8.2%	310	7.6%	+20.9%
営業利益	830	18.0%	736	17.9%	+12.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	520	11.3%	457	11.2%	+13.8%
投資計画	設備投資 478億円		減価償却費 350億円		



● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (23年3月期)
1 USD	133.0円	135.5円
1 EUR	143.0円	141.0円
1 CNY	19.2円	19.8円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	7.9億円	1.8億円
EUR	5.8億円	1.4億円
CNY	54.6億円	41.8億円

● 売上高

- ✓ 中国を含む各地域の伸長
- ✓ XRシリーズの上市（EMEA、AP、中国）
- ✓ 中国ロックダウン製品の拡充（血液凝固、尿分野）
- ✓ 手術支援ロボットシステム「hinotori」の導入加速（50台導入予定）

● 営業利益

- ✓ インフレ影響による販管費の増加や積極的な投資※を継続するも、原価低減、粗利増などにより、2桁増益
- ※研究開発費、血液凝固分野のグローバルOEM対応、社内デジタル化への投資

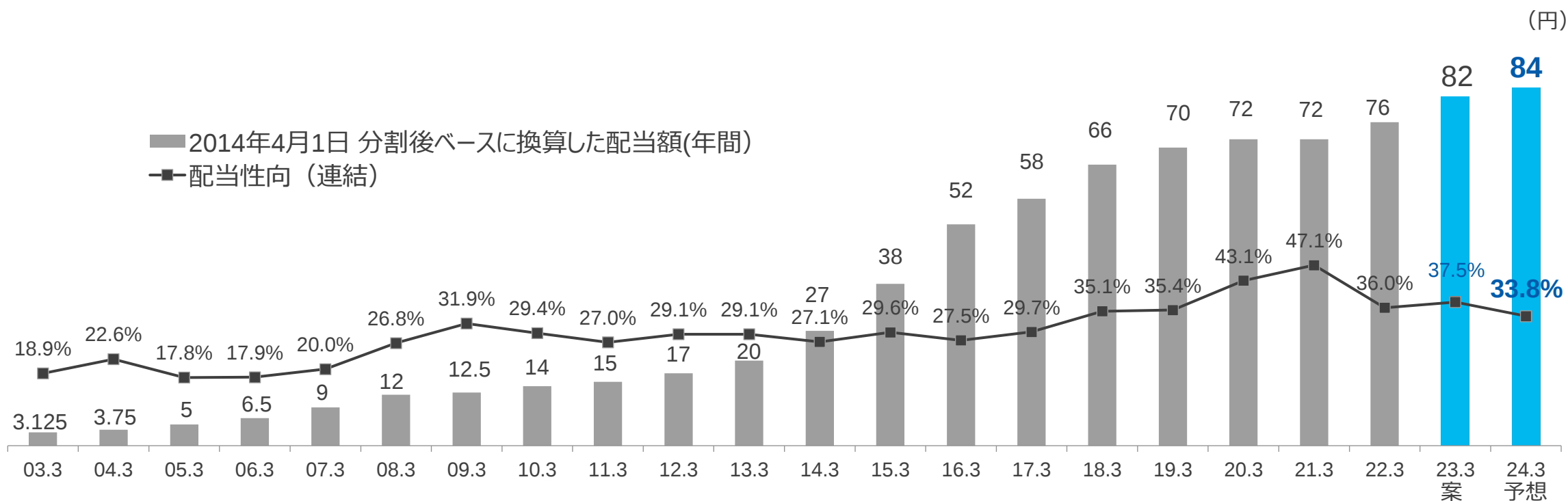
● 外部環境の想定

- ✓ 中国のリオープン、検査需要および医療インフラ投資の回復
- ✓ 新興国中心に医療アクセス向上に向けた需要は継続
- ✓ 原材料費や輸送費は緩和基調もインフレは継続
- ✓ COVID-19検査（抗原、PCR）需要は減少

2024年3月期 配当予想

2円増配し、年間84円を予定

株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。



(補足資料)

中期経営計画

連結PL

(億円)

	2024年3月期目標	2026年3月期目標	CAGR ※
売上高	4,600	5,600	10.9%
営業利益	830	1,120	15.0%
営業利益率	18.0%	20.0%	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	520	740	-

※2023年3月期から2026年3月期の年平均成長率

中期経営計画期間における想定為替レート

アメリカドル (USD)	ユーロ (EUR)	中国元 (CNY)
133.0 円	143.0 円	19.2 円

中期経営計画（事業別・分野別・地域別売上高）



事業・分野別売上高

(億円)

	2024年3月期目標	2026年3月期目標	CAGR ※
ヘマトロジー	2,655	2,970	7.2%
FCM検査	45	70	45.7%
尿検査	380	430	8.1%
血液凝固検査	710	930	11.6%
免疫検査	295	400	19.3%
生化学検査	40	50	13.4%
ライフサイエンス	220	310	15.9%
その他	185	170	-
ダイアグノスティクス事業	4,530	5,330	9.3%
メディカルロボット事業	70	270	126.2%
合計	4,600	5,600	10.9%

地域別売上高

	2024年3月期目標	2026年3月期目標	CAGR ※
日本	680	900	14.6%
米州	1,175	1,400	9.7%
EMEA	1,200	1,400	7.9%
中国	1,095	1,300	10.3%
アジア・パシフィック	450	600	18.0%

※2023年3月期から2026年3月期の年平均成長率

2023年3月期 単四半期業績推移



	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)			3Q (10月-12月)			4Q (1月-3月)			(億円)
	売上高	構成比	対前年 伸長率	売上高	構成比	対前年 伸長率	売上高	構成比	対前年 伸長率	売上高	構成比	対前年 伸長率	
売上高	860.2	100.0%	108.4%	1,079.9	100.0%	120.8%	1,047.2	100.0%	116.2%	1,117.5	100.0%	106.6%	
売上原価	430.6	50.1%	114.9%	524.1	48.5%	126.4%	483.9	46.2%	113.6%	505.4	45.2%	97.8%	
販売費及び 一般管理費	251.5	29.2%	115.6%	278.2	25.8%	122.2%	285.6	27.3%	122.9%	308.2	27.6%	116.4%	
研究開発費	69.1	8.0%	125.9%	76.1	7.0%	124.5%	75.3	7.2%	112.4%	89.9	8.0%	106.2%	
その他営業損益	1.6	0.2%	-	19.5	1.8%	-	9.9	1.0%	-	△20.9	△1.9%	-	
営業利益	110.5	12.8% (12.7%)	74.7%	220.9	20.5% (18.6%)	119.7%	212.2	20.3% (19.3%)	131.8%	193.0	17.3% (19.1%)	106.9%	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	80.3	9.3%	81.8%	159.5	14.8%	131.8%	111.9	10.7%	105.4%	105.9	9.5%	91.8%	

2023年3月期 所在地別実績



(億円)

		2023年3月期	前年同期	前年同期比	
				円ベース	現地通貨ベース
米州	外部売上高	1,008.0	789.6	127.7%	106.1%
	営業利益	40.6	46.2	87.9%	72.9%
EMEA	外部売上高	1,132.7	1,024.1	110.6%	102.4%
	営業利益	83.9	123.1	68.2%	63.5%
中国	外部売上高	967.9	932.9	103.8%	92.3%
	営業利益	99.6	115.7	86.1%	76.8%
AP	外部売上高	363.2	293.6	123.7%	-
	営業利益	34.5	21.7	158.8%	-
日本※	外部売上高	633.0	597.4	106.0%	-
	営業利益	513.4	382.4	134.2%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

XRシリーズおよびアルツハイマー病検査の進捗

● ヘマトロジー分野「XRシリーズ」の導入スケジュール

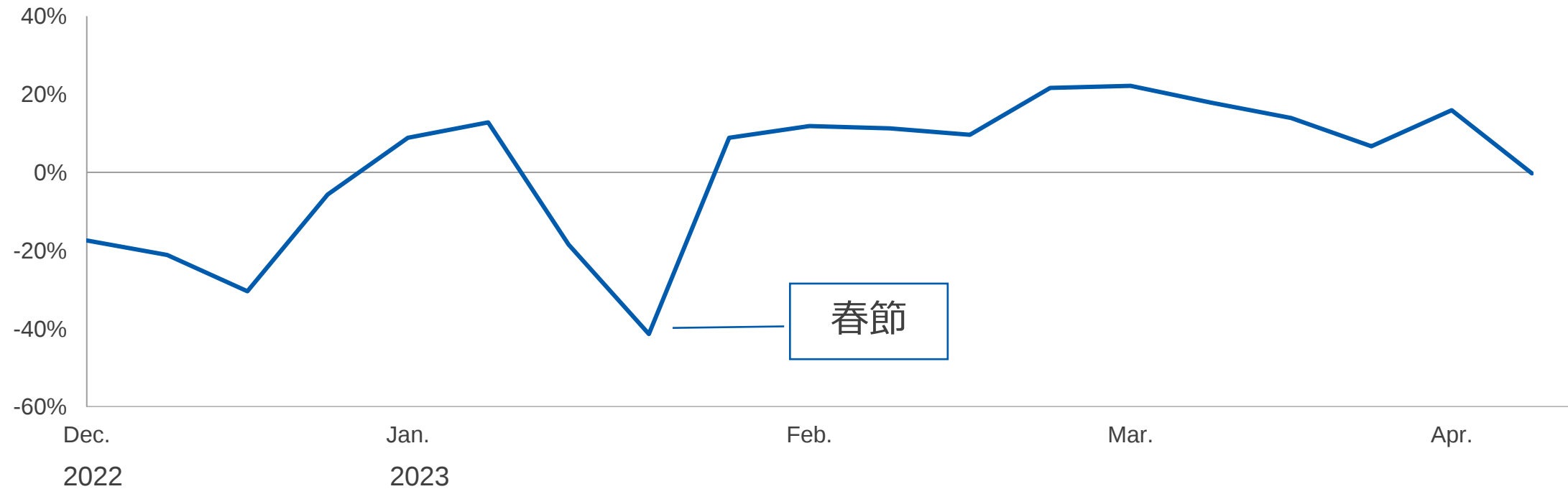
- ✓ 日本 : XRシリーズの新モジュールとして、精度管理を完全自動化するBT-50を2023年3月期1Qに販売開始
2023年3月期のヘマトロジー分野の機器売上は2桁伸長を達成
- ✓ 米州 : BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして2022年12月より販促開始
XRシリーズは2025年3月期販売開始予定
- ✓ EMEA : 2024年3月期1QよりXRシリーズ（BT-50含む）を販売開始予定
- ✓ 中国 : 2023年3月期4QよりBT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始
XRシリーズは2024年3月期3Q販売開始予定
- ✓ AP : 2024年3月期1Q販売開始予定

● アルツハイマー病検査の導入スケジュール

- ✓ 日本 : 2024年3月期5月に販売開始予定
- ✓ 米州 : 2024年3月期1Qより、シスメックスアイノスティクスにてLDT開始予定

中国ヘマトロジー検査数推移

行動規制撤廃後、コロナ禍前の水準まで回復



* 当社推計

* 1台当たり平均検査数の対2019年4月～2020年3月平均



Together for a better
healthcare journey